

「立川に基地があったことを知っていますか？」

最終回：2017年1月21日（土）14：00～16：00

東京三弁護士会多摩支部会館（旧立川基地跡地所在）

定員100名

半田 滋氏（東京新聞論説兼編集委員）

× **島田清作氏**（元立川市議）

「米軍立川基地後の立川と その後の日本」(仮)

多摩地域の発展のもととなったまちの歴史を、憲法の視点から振り返る連続企画の第5弾です。今回は、自衛隊の活動にまつわる海外取材の経験も豊富で日本の安全保障政策に関する取材の第一人者である半田滋氏と、砂川事件とその後の立川をよく知る島田清作氏をお招きし、砂川闘争とは何だったのか、米軍立川基地が返還されたことで、立川というまちがどのように変わっていったのか、さらには砂川闘争や米軍立川基地の返還が日本のその後にどのような影響を与えたのかを考えてみます。

東京三弁護士会多摩支部（会館）はこちら



※多摩都市モノレール高松駅より徒歩3分

あなたの住むまちの歴史を、憲法をとおして再発見してみませんか？ ご参加をお待ちしています。

参加無料！

お問い合わせ先：東京三弁護士会多摩支部

電話：042-548-3800



半田滋氏略歴

1955年栃木県宇都宮市生まれ。下野新聞社を経て、1991年中日新聞社入社。東京新聞編集局社会部記者を経て、2011年1月より論説委員兼務。1992年より防衛庁取材を担当。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金賞（大賞）を受賞。著書に、『「戦地」派遣 変わる自衛隊』（岩波新書、2009年度日本ジャーナリスト会議 J CJ 賞受賞）、『日本は戦争をするのか』（岩波新書）など。



島田清作氏略歴

1957年東京学芸大入学後、砂川闘争・安保闘争などに参加。61年から三多摩地区労働組合協議会の活動に従事し、66年から98年まで立川市議会議員。砂川を記録する会、伊達判決を生かす会、横田・基地被害をなくす会、会員。